

令和7年度使用教科用図書採択に係る会議録（要旨）

- 1 期 日 令和6年7月29日（月）
- 2 会 場 美濃加茂市生涯学習センター
- 3 出席者 教育長、教育委員（4名）
事務局長兼教育総務課長、教育総務課課長補佐
学校教育課長、学校教育課課長補佐、教育センター次長
- 4 議 事 令和7年度において使用する教科用図書の採択について

〈学校教育課長 提案理由や選定方法などについて説明〉

令和7年度使用する教科書について、通称教科書無償措置法第13条により設置された可茂地区採択協議会の採択案について、今からご説明申し上げます。小学校用につきましては、採択替えの年度にはあたりませんので、同じ法律第14条及び施行令第15条により、今年度と継続して使用することになりますのでよろしくお願ひします。中学校用については採択替えの年度にあたりますので、先ほど申しましたように、地区採択協議会の採択案についてご説明申し上げますのでお願ひいたします。事前にお届けいたしました、各教科種目における各者の主な特徴についてというものはございますでしょうか。この資料には、10教科16種目における各発行者の特徴を簡単に示しておりますので、この辺りをご一読いただくとありがたいと思います。また、本日ですが、お手元に調査研究資料を配付しております。これは調査を行った際の視点になりますので、随時確認しながら説明を聞いていただくと幸いに思います。これから中学校用について、発行者の選定理由について説明します。なお、ここには限られた教科書しかありませんが、どの発行者も素晴らしい特徴があります。その特徴であったりとか配慮がなされていたりすることをお申し添えさせていただきます。なお、時間の関係上、3者以上ある教科及び種目については、本市の生徒に適しているかどうかといった視点で、選定理由が焦点化できる2者に絞ってお話を申し上げますのでお願ひします。机上には、先ほど教育長様からお話ししましたように、各教科、種目ごとの教科書が置いてあります。国語から順にご説明申し上げます。国語の教科書を見ていただくと青色の付箋および赤色の付箋が貼ってあります。赤色の付箋、そして青色の付箋という順で私の方からご説明申し上げますのでお願ひいたします。それでは皆さん、国語の教科書を準備ください。

〈学校教育課長 国語の教科書について説明〉

国語については4者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【三省堂】、【光村図書出版】です。なお、前面スクリーンに、実際の教科書を映し出しておりますので、お手元の付箋を見ながらでも結構ですし、スクリーンを見ていただいてもいいのかなと思います。

それでは、【三省堂】の第1学年54頁をご覧ください。【三省堂】は、各教材の後に「学びの道しるべ」と題して様々な言語活動を紹介します。言葉の使われ方の良さを考える活動など、学力の向上に向けた多様な学習を展開することができます。ただし、単元の活動が多岐にわたり、付けたい力をやや焦点化しにくいといった面があると考えます。【光村図書】1年生28頁をご覧ください。【光村図書】は教材ごとに「学びへのとびら」と題して学習の手引きがあります。これは、単元を通した学習の流れが見通しやすい作りで、主体的な学習に役立つ要素が多く含まれていると考えられます。例えば、文学的文章で心情を捉えたり、表現の効果を考えたりする個別の学習の後に協働学習で深めていくプロセスが示されています。生徒にも教師にも学習展開がつかみやすいということがあります。それでは、【三省堂】の青い付箋をご覧ください。1年生106頁になります。【三省堂】につきましては、1年生から三角ロジックに基づいて、論理的に思考する力の向上

を図ろうという意図を感じます。続いて、358 頁をご覧ください。様々な個別学習のため、二次元コード参照先のサイトに動画、音声、デジタルドリル、参考資料などを用意してサポートしています。つまり、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実が図られていると考えることができます。続きまして、同じような形で【光村図書】193 頁をご覧ください。【光村図書出版】は「学びのかぎ」を位置付け、単元でつけさせたい力につながる見方や考え方の具体を示しています。この具体につきましては、協同的に学習しやすくなってきております。続きまして、194 頁をご覧ください。話す内容や書いた作品を ICT で共有する。そして交流や推敲につなげるような協同的活動を示すヒントマークというのがあります。生徒にとっても教師にとっても、これらは授業作りの道しるべと考えています。2 点目につきましては、個別最適な学び及び協同的な学びという観点でございましたけれど、この点から関しても【光村図書】を考えることができます。これらに加え、例えば評価しやすい学習課題の提示や字体等、いろいろなことを総合的に比較・検討した結果【光村図書】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 書写の教科書について説明〉

書写については4者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【光村図書出版】です。

まず1点目です。主体的、対話的で深い学びについてお話をします。【東京書籍】の28 頁をご覧ください。【東京書籍】は、教科書を開くと、見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろうと、目標から振り返りまで一目で学習内容を把握できるよう配慮されています。【光村図書】との違いは、見開きの中にお手本が組み込まれていることです。毛筆の学習の際、生徒は教科書を開いたり閉じたりすることなく、学習活動に集中しやすいと言えます。さらに、教材文字を上部、書き込み欄を下部にすることで、見やすさだけでなく、利き手に左右されない紙面構成になっています。【光村図書】の58 頁をご覧ください。【光村図書】も学習内容がわかりやすく、見やすいよう配慮されております。見開きで学習内容は完結するので、子供たちは見通しをもった学習をすることができるということはあります、先ほどお話した【東京書籍】につきましては、書き込み欄であったり、利き手に左右されない紙面構成になっていることが分かります。続きまして、2つ目の内容についてお話します。【東京書籍】65 頁をご覧ください。【東京書籍】は活動の目標と進め方、途中経過を視覚的に理解できやすいように配慮され、それにより生徒が日常生活の学びを活かしやすいものになっているということがわかります。同じく【光村図書】86 頁をご覧ください。【光村図書】は活動の目標と手順を視覚的に捉えやすいように配慮しています。一目で見て活動の目標が理解できる反面、活動の途中経過は文字でしか分からないようなことになります。この2点の結果、【東京書籍】の方がより適していると考えます。

〈学校教育課長 社会（地理）の教科書について説明〉

社会の地理的分野については4者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【日本文教出版】です。

1 点目は、主体的、対話的で深い学びということです。【東京書籍】55 頁をご覧ください。【東京書籍】は世界一周旅行をグループで企画、そして、世界の様々な地域の気候、服装などを考えながら、いつ行くのが良いのかを仲間と話し合う活動があります。個によって意見の相違があることは当然予想されますが、それだけ広く深い学びができると思います。続いて、【日本文教出版】43 頁をご覧ください。【日本文教出版】は、気候推理ゲームを行うことで、写真をもとにどの気候なのかを話し合ったり、推理ゲームを作って考え合ったりすることで、楽しくこの単元で学習したことをまとめることができるという工夫がされています。2つ目は資料活用能力についてです。【東京書籍】76 頁をご覧ください。【東京書籍】は、東アジアの降水量と人口密度の主題図を掲載して、アジアの降水量と人口にはどのような関係があるかと投げかけ

ています。また、上海の人混みが分かる写真と地域別 GDP を表す主題図を掲載し、複数の資料を関連させて考えたり、表現したりしようと投げかけています。考える力、説明する力という力に力点を置いていることが分かり、先ほどお話しした資料活用能力の伸長を可能にする教科書だといえると思います。【日本文教出版】41 頁、97 頁をご覧ください。【日本文教出版】は、世界の宗教の分布やアメリカ・カナダの農業について理解できるように、どのように読み取れば良いのか、丁寧に構成されるということが特徴として挙げられます。以上、教科社会、種目地理的分野についてお話ししました。

〈学校教育課長 社会（歴史）の教科書について説明〉

社会につきましては、地理的分野、歴史的分野、そして公民分野を合わせて、美濃加茂市の子供たちにふさわしい教科書を 1 者に絞っていきたいと思います。

社会の歴史的分野については一番多く 9 者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた 2 者は、【東京書籍】、【日本文教出版】です。協同的な学びや、個別最適な学びの視点からお話します。【東京書籍】113 頁、【日本文教出版】123 頁をご覧ください。両者とも 1 単位時間の学習を見開き 2 頁の構成としています。学習課題が明確に示されて、解決するための資料を精選、1 時間のまとめとして基礎的、基本的な内容の確認や表現する力をつけることができます。ただ、【東京書籍】では「みんなでチャレンジ」で、大名の統制について考えようと仲間で話し合うことを投げかけています。このようにグループで協力しながら取り組む、対話的な活動コーナー「みんなでチャレンジ」が 3 4 か所設定しており、とても充実していることがわかります。

〈学校教育課長 社会（公民）の教科書について説明〉

社会の公民分野については 6 者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた 2 者は、【東京書籍】、【教育出版】です。

主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善についてお話します。【東京書籍】123 頁、124 頁、合わせて【教育出版】126 頁をご覧ください。両者とも基礎、基本の頁は設けられています。ただ、【東京書籍】では、「探求のステップ」というコーナーを設けて、各節で学習した内容を図や表を作成することで学び直しを行うことができます。また、まとめの活動として、「S 市の議員となって条例を作ろう」と投げかけ、グループで意見交流する中で様々な立場になって考えるという活動が準備されています。また、章末だけでなく「みんなでチャレンジ」というコーナーが設けられていて、主体的、対話的で深い学びがより可能ということが言えます。

以上、地理的分野、歴史的分野、そして公民的分野についてお話ししましたが、総合的にこれらを比較・検討した結果、3 分野とも【東京書籍】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 社会（地図）の教科書について説明〉

社会科地図につきましては【東京書籍】と【帝国書院】の 2 者です。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。

まず 1 つ目の、個別最適な学びや協同的な学びの視点についてお話します。【東京書籍】31 頁、【帝国書院】43 頁をご覧ください。【東京書籍】では、主体的、対話的に地図帳を活用していくための資料として、特に主題図は 225 点、総資料数は 505 点となっています。一方、【帝国書院】同じように資料として準備はされていますが、写真資料 204 点、主題図 208 点等、総資料数は 749 点となります。【東京書籍】は 505、【帝国書院】は 749 ということで、250 弱多いというような状況になっています。続いて大きな 2 点目のことについてお話します。文字の大きさであったり、あるいは行間であったり、そういったものを見ていきます。【東京書籍】95 頁、【帝国書院】119 頁をご覧ください。【東京書籍】は文字に全て丸ゴシック系の UD フ

ォント、地名表記は縁取りしてあります。重なりも見やすくなる、配色は落ち着いた色彩を使用しています。一方【帝国書院】は、都市名や地域、地域名にUDフォント、都道府県名は独自のUDフォントが使われています。そして、一目でお分かりかと思いますが、中部地方の地図の山脈や平野と配色をご覧ください。

【帝国書院】は、明るくメリハリのある色彩でより立体的に見えるように工夫がされています。総合的に比較した結果、【帝国書院】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 数学の教科書について説明〉

数学については7者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【啓林館】です。

1点目、主体的で深い学びということについてお話します。【東京書籍】1年生64頁、83頁、合わせて、【啓林館】1年生58頁、82頁をご覧ください。【東京書籍】につきましては、単元導入で正方形が増えていくときの棒の本数を文字を使って考えさせています。そして、利用の学習では3次元の立体が増えていく形へとつないで深い学びへと促しています。さらには、「それなら」を示して、主体的で深い学びへと促しています。大切にしたい見方や考え方も明記されていて、数学の良さ、活用の良さというものを実感できる工夫があります。一方、【啓林館】も、単元の導入は日常の具体的な事象で入って、掲示物が増えるときのマグネットの数を文字を使って考えさせています。文字の計算の学習の中で貼り方を変えてみる等の工夫があります。しかし、82頁の利用では、先ほどのマグネットではなく、数あてマジックになっています。つまり、それぞれの事象が単発的な扱いになっているということになります。文字を活用するよさや学びの発展性といったときには若干弱さがあると考えてます。2点目、対話的で深い学びについてお話します。【東京書籍】2年生49頁、【啓林館】51頁をご覧ください。【東京書籍】はほぼ全ての章末に深い学びのページを設定して、対話的な深い学びとなるよう数学的な活動が大変工夫をされています。ページの横には、問題をつかむ、見通しを立てるなど学びの流れが示され、それに加えて友達の考えを知ろう、話し合ってみようというように、協同的な学びや対話的な学びができるように示されています。ここでも「それなら」と他の条件でさらに考えていこうという深い学びへと促しています。【啓林館】をご覧ください。【啓林館】は問題設定、見通し、そして振り返りがステップごとに出されています。ステップを示すことで学びの流れはわかりますが、ステップにより思考が途切れてしまう感じがあります。結局は教科書通りに進めていくことになって、対話的な活動を生み出すということが十分でないことも考えています。以上2点お話しましたが、総合的に比較した結果、【東京書籍】が優れていると考えます。

〈学校教育課長 理科の教科書について説明〉

理科については5者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【啓林館】です。

1点目について、個別最適な学び、協同的な学びということについてお話します。【東京書籍】第1学年152頁、【啓林館】82頁をご覧ください。【東京書籍】では、各自が立案した仮設や予想をもとに、複数の実験方法から選択できる場面を設けています。そして、1人1人に応じた学習を可能にしています。また、探求の過程における対話例の掲載が多いということで、協同的かつ主体的に学習する態度を育成することが可能になっています。【啓林館】については、個の特性や興味に応じて学びが広がったり、深まったりすることができるよう「探Qのたね」を位置づけ、1人1人に応じた学習が位置づいています。また、考えてみよう、発表してみようとして設定して、妥当性を考える機会が多いです。大きな2つ目、学習評価のことについてお話します。【東京書籍】1年生89頁、167頁、181頁、合わせて【啓林館】91頁、119頁をご覧ください。【東京書籍】では、探究を振り返ろうの活動を設定して、探究の過程の妥当性について考えています。また、先ほど167、181頁でも示しましたように、単元や章ごとにBefore&Afterを設定して、学ぶ意味や自

己の成長を実感できる機会が特に多いです。【啓林館】は、探究の振り返りを設定して、色々と振り返ったり考えたりすることができるようにしています。また、学ぶ前にトライ、学んだ後にリトライということで、自己評価できるような場面が設定してあります。以上、それぞれ特徴はありました。また、これらの二次元コードの数であったりとか、教科書の重量であったりとか、いろいろなことを総合的に比較した結果、【東京書籍】がより適していると考えます。

教育長：まず前半ということで、国語、書写、社会の3領域、地図、数学、そして理科について事務局から説明をしてもらいました。膨大な情報源でしたが、何かお気づきの点、質問でも結構ですので、皆様方からご意見をいただきたいと思えます。

教育長：1点聞かせていただいてもよろしいですか。今回の改定、今も4教科の説明をいただきましたけど、現行の教科書と比べて大きな違いは、QRコードの扱いが随分増えてきているということが特徴の1つかなと思います。そうした中で、各教科2者を取り上げ、比較をしながら非常にわかりやすくポイントを押さえて説明をいただいてありがたかったと思うのですが、改めてQRコードの扱っているのが各者によってどう違うのか、特徴があるのかどうかということを、例えば数学の【啓林館】と【東京書籍】で教えてもらえないでしょうか。

課長：基本的に二次元コードについては大きな違いはありません。数学においてお話ししますと、コードの数は【東京書籍】【啓林館】で比較をしますと、【東京書籍】の方が数としては多いです。内容としましては、動画シミュレーション、そして練習問題ということで、基本的な大きな差はございません。後ほどお話をしますけれども、音楽や家庭科につきましては、この二次元コードの中に含まれているコンテンツに、大きな違いがございます。それについてはまた後ほどご説明します。数学に限って言えば、練習問題や動画シミュレーションということで、大きな違いはございません。違いがあるのは数です。数が【東京書籍】は多いということになります。

教育長：二次元コードの数が多ということは、ある意味、子供たちが自由に選択して活用できる、そういう選択の余地が広がっているということですか。

課長：そうですね。今、国の方針として、個別最適な学習、そして協同的な学習というところで一体的な学びが推奨されておりますけれども、個別最適の自分の学びにあったコンテンツを見つけて、使うことができるということに関して言うならば、このようなコンテンツがたくさんあった方が、子供たちの選択、活用という力はつくと考えております。

委員：QRコード、二次元コードは、授業の中で使われるということですか。

課長：授業の中で使う場合もありますし、家でも使う場合はあります。

委員：家ではタブレットで読み込んで使うということですね。

課長：そうですね、タブレットで読み込んで使うということになります。

教育長：インターネットに繋がっている状況、そういう環境であれば使えるんですね。

課長：そうです。1人1台端末ということで準備をされておりますので、教科書とタブレット端末さえあれば、家でどんどん学習を積み重ねることができるというような状況は用意されています。

委員：大変分かりやすい説明をしていただきありがとうございます。どちらになるのかなという視点で見ながら説明を聞いたんですけども、こっちになるのかなと思ったものに大体なったということで、視覚的にも入りやすいものであったりとか、学ぶ子供たちの立場に立った教科書が採択されていたりするのではないかなと感じました。

委員：地図だけ【帝国書院】になりましたが、同じ社会の中で出版社が変わるということは、内容の整合性について問題はないのでしょうか。

課長：そうですね。特に問題はございません。小学校の地図につきましても【帝国書院】になっておりま

す。したがって、小学校の時と同じような感覚で地図というものを継続的に見るということが可能になってくるといことになります。

教育長：学習の資料という扱いですので。必ずしも教科書とは一体でなくても、そこは大きな問題ではないという捉えですね。

委員：中学校の教科書はすごく自分で勉強できる教科書になっていると思います。このQRコードですけど、実験のことに、実際に自分でやってみることと実験を動画で見ることは違うと思うのですが、実験の様子を動画で見てしまったら、結果が分かってしまうとかそういうことではないですか。

課長：そういうことではないです。

教育長：同じ内容のところを比べてみると、内容と同時に扱い方、表記の仕方というのも随分違いがあるなということ思いながら、そういうポイントを抑えて説明をいただきました。本当にありがとうございます。

〈学校教育課長 音楽 一般の教科書について説明〉

音楽 種目一般については【教育出版】、【教育芸術社】の2者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。

1つ目については、資質能力の育成についてです。【教育出版】2・3年生の下8頁、【教育芸術社】2・3年生の下8頁をご覧ください。【教育出版】は、目次の次に学習マップで、3つの資質能力の関係性、そして教材同士の関連というものを示して、系統的に学べるというような状況を作り出しています。【教育芸術社】は目次の次に学習内容で、3つの資質能力とそれに対応する学習内容や教材同士の関連を示して、身につけたい学力がわかりやすいという状況です。大きな2点目はICTの活用についてです。【教育出版社】下13頁、【教育芸術社】13頁をご覧ください。【教育芸術社】は「花」の楽譜の右端に二次元コードがあります。ウェブサイトでは、ソプラノパートやアルトパートの音源がここから聞けるようになっています。今まではパート別のCDを使わないと練習できないという状況でしたが、これを使うことによって、いつでもどこでも自分で音を聴くことができる、そして学習することができます。この教材だけではなくて、ほとんどの歌唱教材に準備されているということで、子供たちの中でICTを使いながら主体的な学習活動というものが可能になってくるとい点が大きな特徴だと思います。総合的に検討した結果、【教育芸術社】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 音楽 器楽の教科書について説明〉

音楽 種目器楽については【教育出版】、【教育芸術社】の2者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。

【教育出版社】98頁、【教育芸術社】84頁をご覧ください。【教育出版社】は学んだことを生かして取り組むアンサンブル曲というものが難易度順に掲載されたり、1人で演奏できる曲に掲載したりして、とても工夫されています。学習意欲を喚起する工夫がされていると感じます。一方、【教育芸術社】でも同じように使われることができます。【教育芸術社】は幅広いジャンルで演奏できる曲があり、学習の意欲をより高めるとい点におきましては、大変特徴が見られる教科書です。大きな2つ目学習評価についてお話しします。【教育出版社】43頁、【教育芸術社】38頁をご覧ください。【教育出版社】につきましては、琴の歴史を導入として演奏を身につけていきます。学習目標は3つあり、4つの練習曲と2つのまとめ曲というような状況になっています。【教育芸術社】につきましては、最初に鑑賞として琴の演奏を聞いてから歴史を学んでいます。そして目標が細分化されていて、演奏や練習のポイントが分かりやすく示されているということになります。なお、6種類の奏法が取り上げられており、自分の技能段階に合わせて発展的に学習することができるとい

うこととなります。以上2点を踏まえて比較した結果、【教育芸術社】がより適していると考えます。音楽一般並びに器楽につきましては、ともに【教育芸術社】が適しているというふうに考えます。

〈学校教育課長 美術の教科書について説明〉

美術については3者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【光村図書出版】、【日本文教出版】です。

1つ目についてお話しします。【光村図書出版】、【日本文教出版】の表紙をご覧ください。【日本文教出版】は1年生6頁もご覧ください。ともにいろんな構成がされておりましたが特に【日本文教出版】につきましては、系統立てられた題材が設定されています。また、きめ細かい指導をさらに進められるようになっており、加えて、小学校図画工作科からの連続性についても十分考慮されていて、生徒にとって確実な学びが保証されているという状況になっています。2つ目の主体的、対話的で深い学びの授業改善についてお話しします。【光村図書出版】1年生16頁、【日本文教出版】12頁をご覧ください。ともに題材の目標であったりとか関連する鑑賞、参考にするに作品が書いてありますが、【日本文教出版】については、題材ごとに造形的な視点が示されて、この造形的な視点というものが見方、考え方を働かせる上で重要な要素であって、表現や鑑賞の活動を進める上での具体的なヒントになるということになります。したがって、小学校からの学びの系統性、そして造形的な視点ということを考えて時に、総合的に比較・検討した結果、【日本文教出版】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 保健の教科書について説明〉

保健については4者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【大修館書店】です。

学習評価についてご説明します。【東京書籍】94頁、【大修館書店】84頁をご覧ください。がんという病気のことについて書いてあります。【東京書籍】につきましては、がんとは、体の正常な細胞が、異常な細胞に変化して勝手に増殖することにより、周囲の大切な組織を壊してしまう疾病ですという説明・解説から始まっています。【大修館書店】では、がんは生涯のうち2人に1人がかかると言われる現在の日本人にとって身近な病気ですと始まって、解説ではなく、身近に感じないがんという病気に対して、今後の自分に関わってくることを、自分事として考えていこうという工夫がされています。このようにがんの予防だけでなく、他にも【大修館書店】につきましては、自分ごととして考える表現の工夫があります。他にも視点はありますが、総合的に考えた時に、【大修館書店】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 技術の教科書について説明〉

技術については3者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【教育図書出版】です。

【東京書籍】3頁、42頁、合わせて【教育図書出版】の目次、2頁、そして、1番後ろにありますスキルアシスト4頁をご覧ください。【東京書籍】には技術科の4つの内容がバランス良く配置されています。また、知識、技能の習得については、工具の使い方が、実際の作業の様子が写真で掲載されています。重要な部分や工具を動かす方法が矢印でクローズアップされていて、大変わかりやすい作りになっています。一方【教育図書出版】につきましても、こうした技術は書いてありますが、別冊になっている分、紛失であったりとかいろんな準備物の点数が増えるということになってしまい、学習時の利用については非常に使いづらいというような状況にもなります。このように、【東京書籍】及び【教育図書出版】について、使いやすさ及び子供たちのイメージしやすさということで考えた時に、総合的に比較検討して、【東京書籍】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 家庭の教科書について説明〉

家庭科については3者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【開隆堂出版】、【東京書籍】です。

ICTを活用した学習活動について、【開隆堂出版】205頁、【東京書籍】121頁をご覧ください。【開隆堂出版】では二次元コードがほぼ全ての頁に掲載されています。ただ、同じ服の着方の工夫においてですが、パーソナルカラーの診断表のワークシートのみが表示されるような状況になります。授業では、別に教師が布を準備しなければいけないということになります。一方、【東京書籍】は二次元コードがすべての頁に掲載されています。この着方の工夫の学習では、布を準備することはありません。先ほど二次元コードというお話をしましたが、この二次元コードを読み取ることによって、イラストの服の色や襟の形、柄や柄の大きさを自由に変えたりすることができたり、顔を映し込んだりすることができるので、バーチャルの状況の中で服というものを見ることができるといえます。こういった工夫が【東京書籍】にはあります。同じようにスナップについても言えることができる。このように2つをした比較検討した結果、技術分野と同じように、家庭科分野においても【東京書籍】がより適していると考えます。

〈学校教育課長 英語の教科書について説明〉

英語については6者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【三省堂】です。

協同的な学び方については、両者とも即興的なやり取りの言語活動を行うことができるということがわかりました。したがって、青色の付箋のところをお話します。【三省堂】3年生32頁、36頁、【東京書籍】38頁をご覧ください。【三省堂】については、広島県の修学旅行を題材にした単元末のゴールアクティビティで、平和について読みとって、自分の考えを伝え合う活動が設定してあります。そして、小グループで旅行プランを作成するという学び、協同的な学びを工夫しています。同じように【東京書籍】は、絶滅の恐れのある動物を題材に学習して、単元末で情報を伝える記事を作成、そして読み合い、動物保護について考えるというふうに、英語の即興的なその役割の中で、より先ほどの【三省堂】と比較した時に、段階的、発展的な学習が準備されていると考えています。もう1つについては、二次元コードの数です。両者とも充実はしておりますけれども、特に【東京書籍】につきましては、デジタルコンテンツが準備されておりますので、進度が自由に選択できるというようなことがあります。したがって、英語につきましては【東京書籍】が適していると考えます。

〈学校教育課長 道徳の教科書について説明〉

道徳については7者あります。その特徴につきましては資料にまとめてありますのでご覧ください。本市の生徒にとって特にふさわしいと考えた2者は、【東京書籍】、【光村図書出版】です。

【東京書籍】3年の巻頭、2頁をご覧ください。同じように【光村図書出版】目次、10頁をご覧ください。いじめに関する教材についてお話します。【東京書籍】、いじめについて3つの教材全て同じ視点、つまり主として自分自身に関するもので教材が配列しています。3年間通して9つの教材がありましたが、そのうち3分の2、6つは同じ視点、主として自分自身に関するものです。一方、【光村図書出版】は、いじめに関して全く異なるそれぞれの視点を準備しています。1つ目は集団や社会との関わりに関すること、2つ目は自分自身に関することというような、それぞれの視点が違うもので構成されています。さらに、1年間を通して学習するテーマが発達の段階に応じた配列になっています。このように、1つのテーマでもいろんな角度から考えていくというような特徴が【光村図書出版】にあります。他にも、【光村図書出版】につきましては、私たちの合唱というように特別活動の時間と関連付けていくようなものもあって、総合的に考えた結果【光村図書出版】が適していると考えます。

- 教育長：ありがとうございます。2者について比較をしながらポイントを押さえて丁寧に説明をしてもらいましたが、何かお気づきの点や聞きたいことがございましたらお願いします。
- 教育長：感想と質問を1つずつ。最後の道徳については、今説明をしてもらいながらよくわかりました。いじめの扱いにしても、資料の数だけではなくて、その扱い方というところは随分違うということがよくわかりました。多様な見方や考え方をしていくという視点で、説明があった【光村図書出版】の特徴はより魅力があるなと思いました。
- 家庭科で1つ質問です。家庭科のポイントとして着方の工夫のところでは比べながら説明をいただきましたが、興味深いなと思いました。この2次元コードの扱いも随分違う特徴があるなということをおっしゃったのですが、【東京書籍】で着方の工夫を、なんか自分を映してできるっていうようなことを聞いたんですけど、これは結局これ自分をモデルにして服の違いとかっていうのができるのか、そういう工夫があると捉えていいのか、教えていただきたいと思えます。
- 課長：これからスクリーンに示させてもいます。【東京書籍】の先ほどの場面でございます。こういったモデルの人がいます。顔については、自分の顔をこの女の子の顔の部分に映すことができます、男の子でもそうです。例えば柄で申しますと、このストライプじゃなくて、ちょっと1本にしたいとか、色はちょっと茶色がいいっていうふうに変えることができたりとか、柄の大きさをこうやって変えたりとか、他には、襟付きがいいというふうにはバーチャルのこの状況の中で準備する必要なく確認をすることができるっていうのが【東京書籍】のコンテンツの中にはあります。
- 委員：動画がたくさん採用されることによって、見ることでもう学んでしまったというようなふうにならないかという心配がちょっとあります。コロナの時はどうしても実験とかが少なくなってるっていうのがあったんですけど、これだけの量の実験とか技術だったら、実際に準備して木を切るとかかっていうのが大変だと思うんですけど、そういう体験的な活動は今でもやっていますか。
- 課長：バーチャルの世界だけじゃなくて、実際に体験しながらやるっていうのは大事にしています。
- 委員：ミシンとかもやっているということですね。
- 課長：はい、やっています。
- 委員：技術のことについて、別冊という話がありました。私は時々仕事をするときにマニュアルを横におくことがあります。そうすると、かえてこの小さい方が便利なこともあります。作業する時に大きなものは持っていきにくいです。だから、あえて別冊になっているんでしょうね。
- 課長：ただ、本当に管理の面でいくと、忘れたとかそういうことがございます。
- 委員：保健体育のところ、自分事として捉えるようになってというような生活改善との関わりということがとても素晴らしいなと思いました。本当の目的という意味では、そこなのかなと思いました。やっぱり昔と比べてすごく話題が豊富とか、今見ててもすごい面白いなと思って拝見させていただきました。中学校からこれを学ぶっていうのはとても大事なことだなと感じました。
- 教育長：それでは、議第1号の令和7年度使用する教科書の採択について改めて確認をいたします。国語科については【光村図書出版】、書写については【東京書籍】、社会科の地位分野については【東京書籍】、歴史的分野については【東京書籍】、公民的分野については【東京書籍】、地図については【帝国書院】、数学科については【東京書籍】、理科については【東京書籍】、音楽一般については【教育芸術社】、音楽器楽については【教育芸術社】、美術については【日本文教出版】、保健体育については【大修館書店】、技術科については【東京書籍】、家庭科については【東京書籍】、英語科については【東京書籍】、道徳科については【光村図書出版】と、採択についての話がありましたが、このように議決することについて、何かご意義はございませんか。よろしいでしょうか。それでは、議第1号の令和7年使用する教科書の採択につきましては、議決されたものと認めます。